

北九州市客引き行為等防止 AI 防犯カメラシステム実証実験業務
事業者選定審査評価基準表

審査方法について

- 1 審査は、評価基準表の評価項目及び配点に従い、応募事業者の提案内容を評価し、得点の高い順に、契約交渉権に係る優先順位を決定する。
- 2 集計結果をもとに、参加業者の順位を決め、最優秀提案者を決定する。同点の場合、下記「プロポーザル審査表（評価基準）」における 2. AI による客引き行為等の検知性能合計点数が高い者を選定する。
- 3 提案者が 1 者の場合、各委員の評価点の合計点数が 240 点（6 割）を超えていることを選定の基準とする。

【プロポーザル審査表（評価基準）】

大項目	中項目	評価内容・着眼点	配点
1 業務理解・実施方針	① 業務目的の理解	客引き行為等の抑止及び実態把握という本業務の目的を十分に理解しているか。	5
	② 実施方針	魚町銀天街周辺の特性を踏まえた具体的な実施方針となっているか。	5
	小計		10
2 AI による客引き行為等の検知性能	① 通常歩行者との区別	通常の歩行者と客引き行為等行為者との区別できるか。	10
	② 滞留行動の検知	同一人物の一定時間の滞留について、適切に検知できるか。	5
	③ 接近・追従等の検知	複数の歩行者への接近、追従、進路への介入の行動をしている状態を適切に検知できるか。	5
	④ 複数人による滞留等の検知	複数人による滞留や、歩行者の進行を妨げるおそれのある行動を検知できるか。	5
	⑤ 誤検知抑制・条件調整	信号待ち、通常の歩行等を可能な限り除外でき、検知時間、条件範囲等を柔軟に調整できるか。	5
	小計		30
3 AI 検知精度の向上・実証実験への対応	① 検知精度向上の手法	実際の映像や検知結果を踏まえ、検知条件や AI モデル等を改善する具体的な方法が示されているか。	5
	② 誤検知・未検知への対応	誤検知及び未検知を分析し、検知精度の改善につなげる仕組みがあるか。	5
	③ 効果検証・分析	検知件数、時間帯、行動種別、誤検知等を整理し、実証実験の効果を検証できるか。	5
	小計		15

4 システム・機器構成	① カメラ・エッジ機器	撮影環境、夜間、通信環境等を踏まえ、AI 検知に必要な性能を確保しているか。	5
	② 警告・記録機能	音声警告が効果的に行えるか。 検知日時、行動種別、映像等を適切に記録できるか。	5
	小計		10
5 情報セキュリティ・個人情報保護	① セキュリティ対策	アクセス制御、暗号化、脆弱性対策、ログ管理について十分な対策が講じられているか。	5
	② 映像・データ等管理	映像等の保存、アクセス権限、外部流出防止等について適切な管理方法となっているか。また、情報漏洩等が発生又は懸念される場合の報告・対応体制が明確か。	5
	小計		10
6 実施体制・実績	① 実施体制	責任者、技術者、連絡体制が明確で、業務を確実に履行できる体制か。	5
	② 導入スケジュール	現地調査、設置、調整、実証、検証までの工程が具体的かつ実現可能か。	5
	小計		10
7 保守・障害対応	① 保守体制	障害発生時の連絡、現地対応、修理等の体制が十分か。	5
	小計		5
8 実証実験としての追加提案	① データ分析・可視化	客引き行為等の発生傾向等を分析し、本市が今後の対策を検討する上で有効な資料を提供できるか。	5
	② 独自提案	将来的な検知対象の追加、システム拡張、他地点への展開等につながる有効な提案があるか。	5
	小計		10
合計			100